

コロンビアの最新動向(10月16日～10月31日)

I. 政治・経済

1. 2008年対外債務は23億ドルの見通し

- 10月24日、トーレス大蔵省公債局長は、2008年に23億ドルの対外借入れを行い、この内13億ドルを国際機関から調達する計画であることを明らかにした。
- 同局長によると、世銀、IDBなどが提案しているコロンビア政府向け12年ローンの金利はLIBORフラット。これら機関からの借入れ条件が、市場からの調達コストに比べ有利となっている。
- 尚、残りの10億ドルはグローバル債発行による金融市場から調達する計画。

2. ボゴタ市長に野党PDA党のモレノ氏が当選

- 10月28日に実施された地方選挙で、野党左派PDA党のサミュエル・モレノ氏がボゴタ市長に選出された。PDA党から同市長が選ばれたのは、これで2期連続。
- ボゴタ市長は、官職としては大統領に告ぐ最も重要なポジション。ウリベ大統領は、モレノ氏への投票を行わないようテレビで有権者に呼びかけるなどのキャンペーンを展開し、注目を集めていた。モレノ氏は43%の票を獲得、28%を獲得した対立候補ペナロサ現市長(無党派)に大差で当選した。
- 今回の地方選挙では32名の全州知事、1,098名の市町村長等が選出された。このうち連立与党ウリベ派からは17名の州知事を選出するなど、今回の地方選挙全体では野党を大きく上回る当選者を出した。一方、ボゴタ、メデシン及びカリの各市長は野党からの選出となった。

II. 石油その他の資源セクター

1. ボゴタ電力公社が6.1億ドルの外債を発行

- 10月24日、EEB(ボゴタ電力公社)が6.1億ドルの外債(期間7年、年利8.75%)を発行。
- 今回の発行は、本年9月に行われた7.5億ドル(期間10年、年利9.5%)の発行に続くもの。調達資金は、2006年12月に行われたEcogas(コロンビア最大のガス輸送会社)買収にかかる14.5億ドルのローン¹返済に充てられる。
- EEBは当初、本年7月、8月の発行を計画していた。しかし米国サブプライム問題から世界金融市場が不安定となった為、外債発行を延期していた。

以上

¹ ABN Amro、Calyon、みずほ銀行などによるシンジケートローン

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。